

1/8th SCALE RADIO CONTROLLED OFF-ROAD RACE CAR
CIRCUIT 20 EXTRA

RACING BAJA

1/8スケール ラジオコントロール オフロードレースカー レーシングバハ取扱い説明書

ラジオコントロール1/8バギー
サーキット20エクストラ
デファレンシャルギヤ装備
.19～.21エンジン/プロポ2チャンネル



KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

KIT No.3045

オフロードバギーの走りが変わった！
シンプルな設計、驚異的な軽さ、
凸凹路も走破！デファレンシャルギヤ
の装備によるサーキット20エクストラ。

テクニカルデータ / TECHNICAL DATA

| | | | |
|-----------------------|--------|------------------------|-----------|
| ●全長 / LENGTH | 380mm | ●ギヤレシオ / GEAR RATIO | 0.1:1 |
| ●全巾 / WIDTH | 200mm | ●フロントレッド / FRONT TREAD | 230mm |
| ●全高 / HEIGHT | 195mm | ●リヤレッド / REAR TREAD | 250mm |
| ●全備重量 / TOTAL WEIGHT | 3,450g | ●フロントタイヤ / FRONT TIRE | 100φ |
| ●ホイールベース / WHEEL BASE | 200mm | ●リヤタイヤ / REAR TIRE | 110φ×48mm |

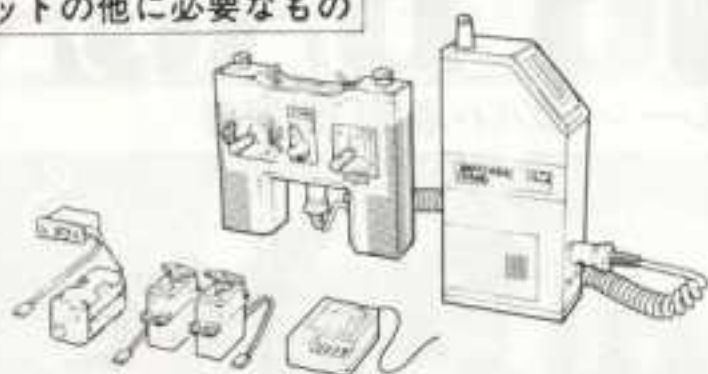


組立のまえに

このたびは、京商「サーキット20 エキストラ」をお買い上げ下さいましてありがとうございます。あなたの「サーキット20 エキストラ」を正しく組立て取り扱い、その性能を十分発揮させていただくため、この取扱説明書に従って順序よく組立てていただきたいと思ひます。

組立てる前に、本取扱書を終りまで良く読んで、あらかじめの構造を頭に入れてから組立に入ると、スムーズに作業に入れます。使用するエンジンが新しい時は、エンジンについている説明書を参考にならし運転をしておくと、エンジンの高性能と耐久力を長く維持させることができます。

キットの他に必要なもの



グロープラグ
(1.5Vの白金が良い)

送信機 単3×5-8本
受信機 単3×4本

プロポ用電池

(注:本キットはエンヤ19、21X及びOS-21エンジン専用です。他のエンジンを使用するときは、オプションパーツ及び多少の改造が必要です。)



(OS-21FSR又はエンヤ19、21X、21CXエンジン)

組立に必要な道具



レンチ



⊕ドライバー



⊖ドライバー



ラジオペンチ



キリ



丸ヤスリ



ハサミ



カッター



紙ヤスリ



接着剤



塗料(ポリカカラー)



筆



マスキングテープ

走行に必要なもの



プラグヒート用バッテリー



ブースターコード



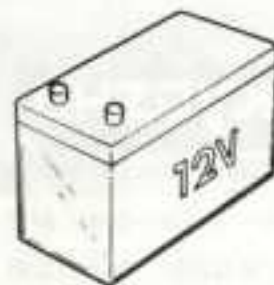
燃料



燃料ポンプ

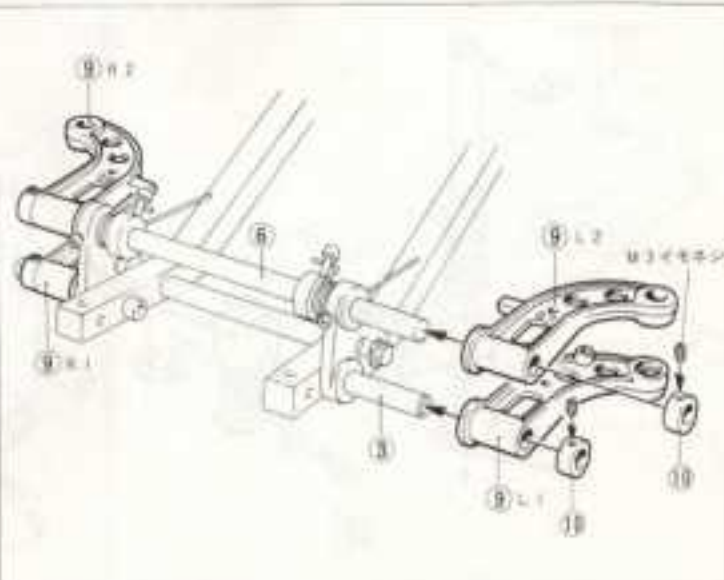
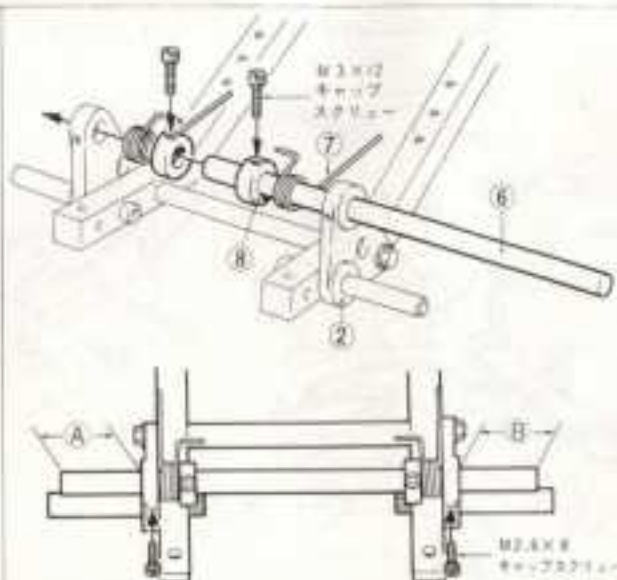
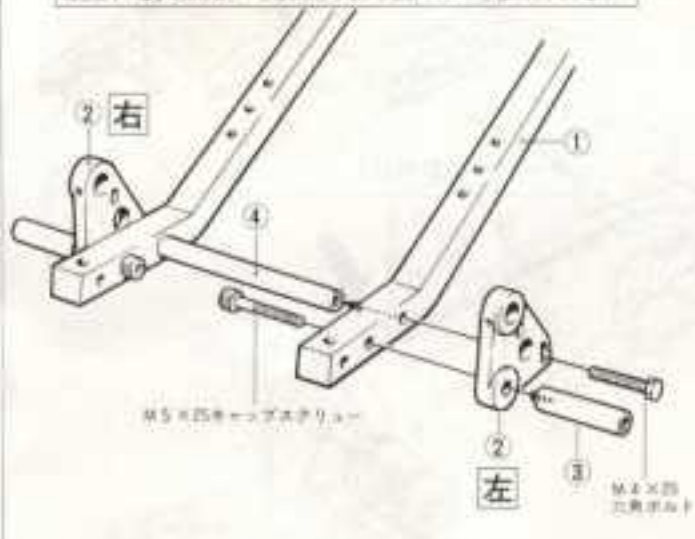


電動スターター



スターターバッテリー

組立図1 ■4までの部品はフレームのフロント部分のパーツ袋に入っています。

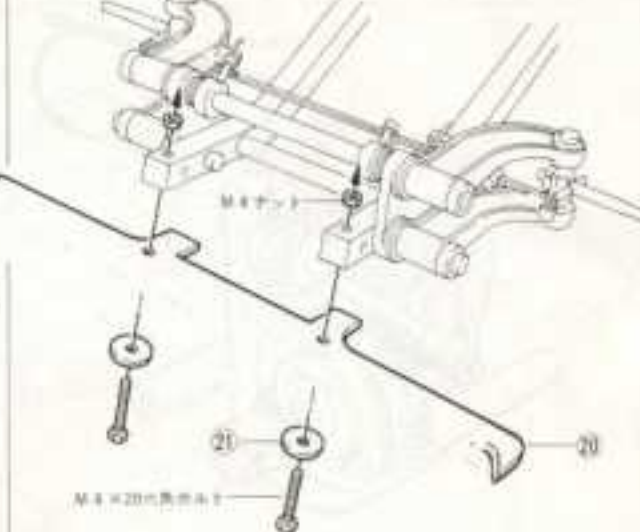
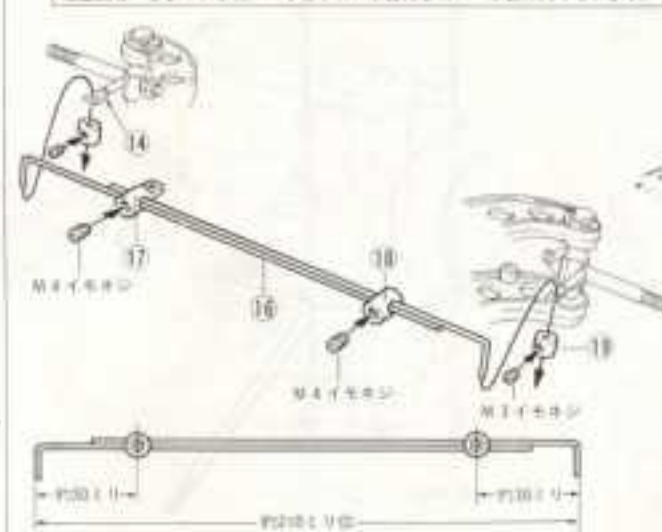
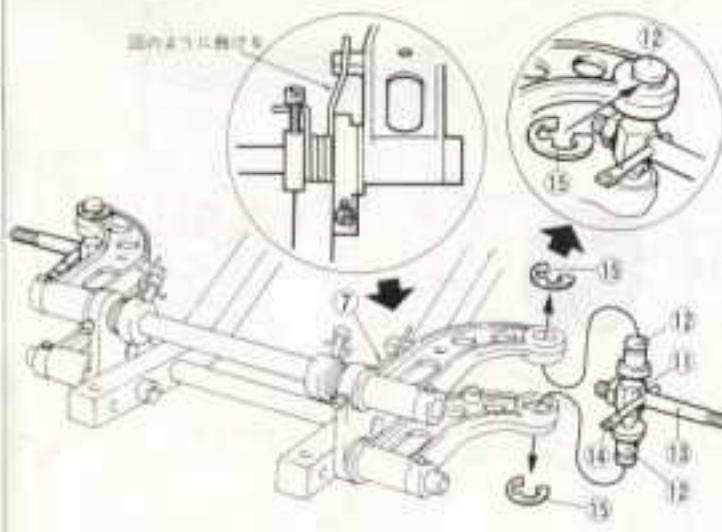


1 メインフレームにアームホルダー等のパーツを取付けて下さい。

2 フロントスプリングの左右をまちがいないようにアーム軸部分を国のようにアームホルダーにM2.5キャップスクリューでセットしますが、下記のA・Bの寸法を同じ長さにして固定して下さい。

3 フロントサスペンションにしり、しり、しり、しり2と参照がしてありますので図を参考にアーム軸Aを、アーム軸Bに入れ、サスサイドストッパーは取付けますが、サスアームが右の方に力がかかると、上下に軽く動くようセットして下さい。

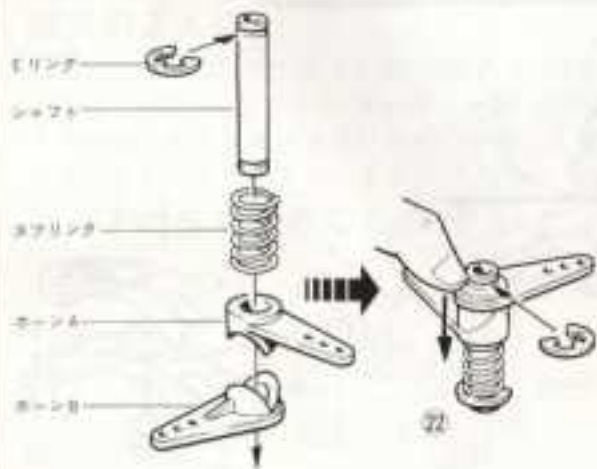
組立図5 ■4までの部品はフロント部分のパーツ袋に入っています。



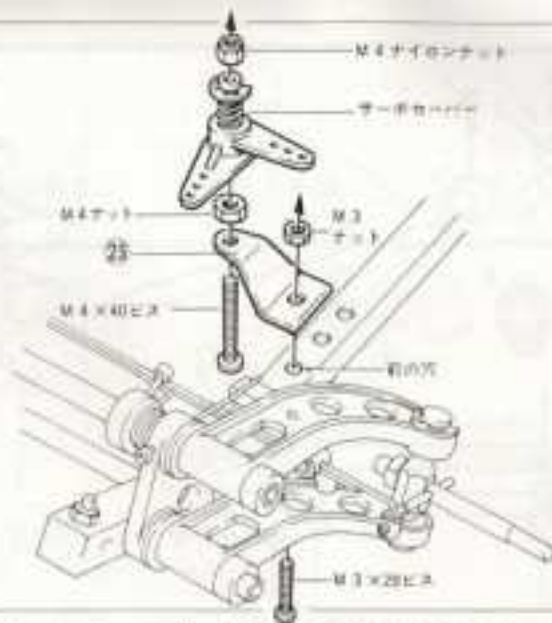
4 フロントサスペンションに組立済みの部品 (キーNo.111111) をまじこみ、Eリングを横から入れてとめて下さい。つぎにフロントスプリングを国のようにセットして下さい。

5 図のようにトップAとトップB側にタイロッド棒を通し、タイロッドの全長を約200mmとし、トップ取付位置は両側から約30mmの位置、M4イモネジでトップを取付け、タイロッドストッパーは使わず、サッカルアーム側にタイロッド棒をセットして下さい。

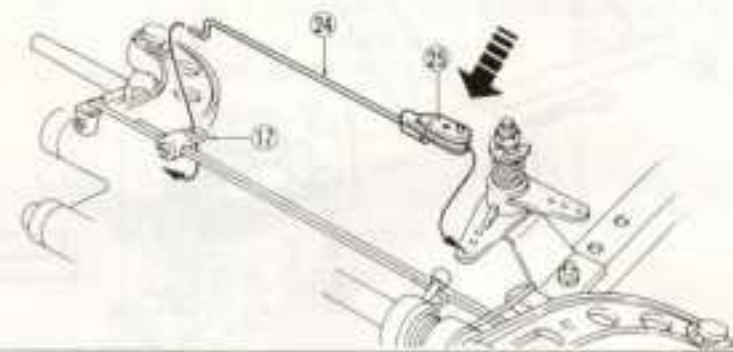
6 フロントバンパー部をフレームに取付ける。フロントダンパー(オプション)を取付ける方は参照図後、12ページ時の要領で組立てて下さい。



7 サーボセーバーは組立済になっております。分解して組立てる時の参考にして下さい。

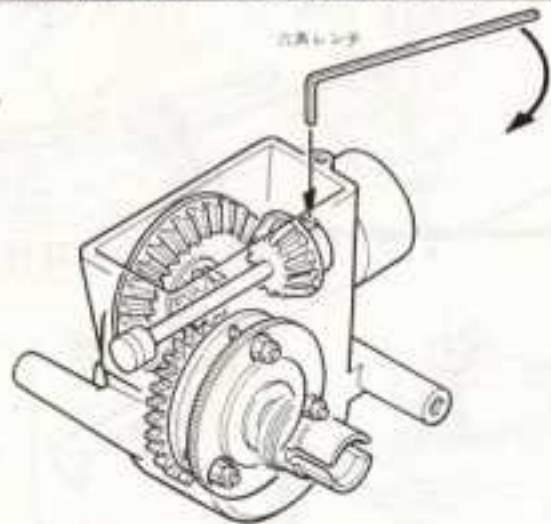


8 インフレームにサーボ掛け金具も取付け、目の金具にM4×40ビスもM4ナットでしっかりと固定し、M4ビスにサーボセーバーを入れ、M4タイロンナットでセットしますが、両方に軽く動くようにM4タイロンナットも締め過ぎないようにして下さい。

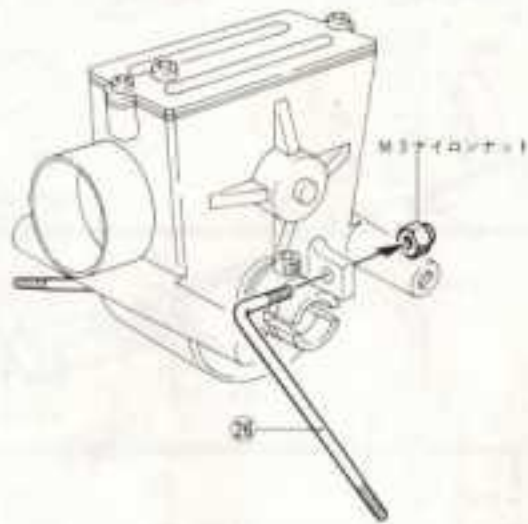


9 ステアリングロッド部をトップ状に入れ、もう一方をキーバー器を使ってサーボセーバーに取付けて下さい。

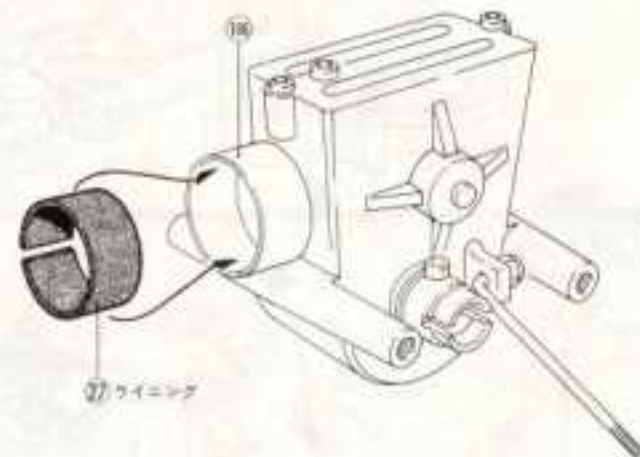
組立図様一頁までの小物パーツはリア部中のパーツ群に入っています。



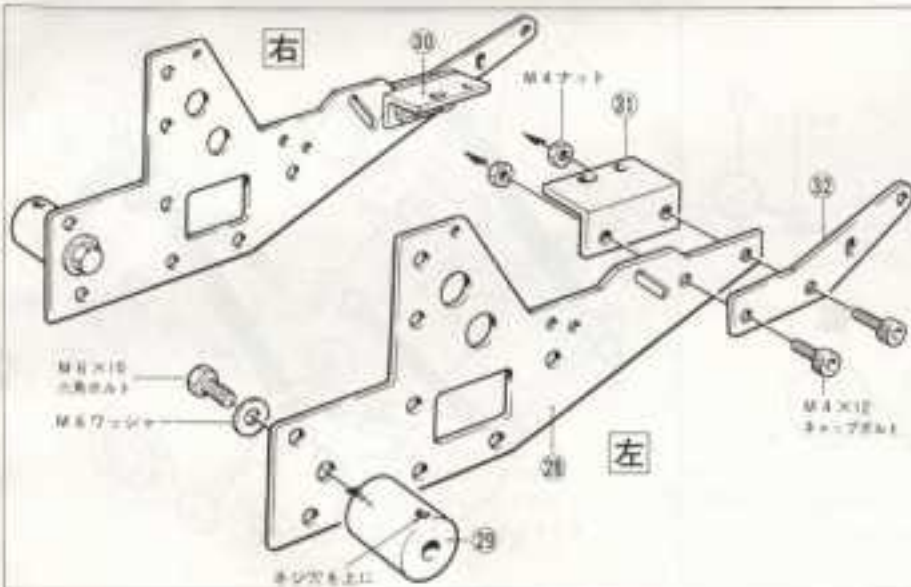
10 キヤボックスは本車の最も重要な部分です。工場て組立済になっておりますが、各ネジを良く点検し、増締めしておいて下さい。



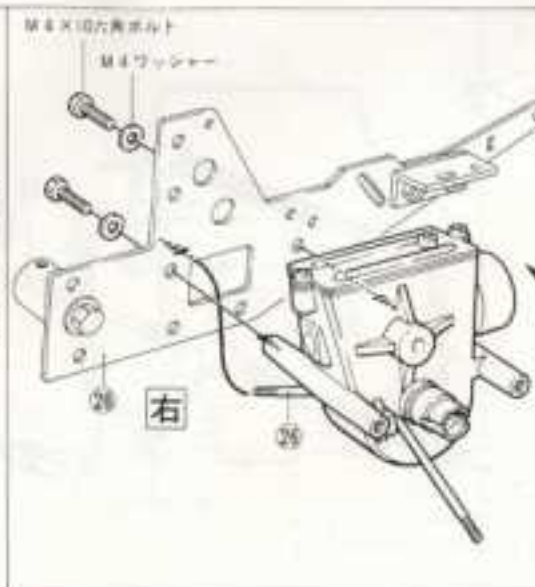
11 図のようにキヤボックスにテンションロッド部を上下に軽く動くよう取付けて下さい。



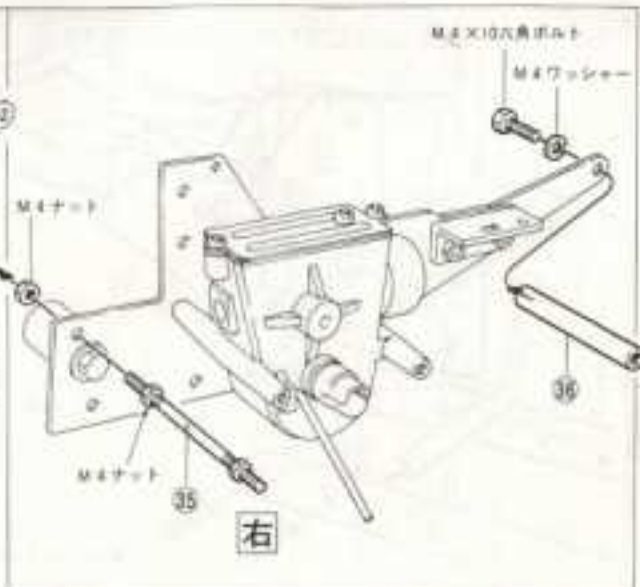
12 ライニング部をクラッチベルの中に入れますが、ライニングの長さを短くしたりしないで、また接着剤も付けずに押し込んで下さい。押し込んだあと、つなぎ目に少量の接着剤を流して下さい。ライニング交換のとき、大変楽に出来ます。



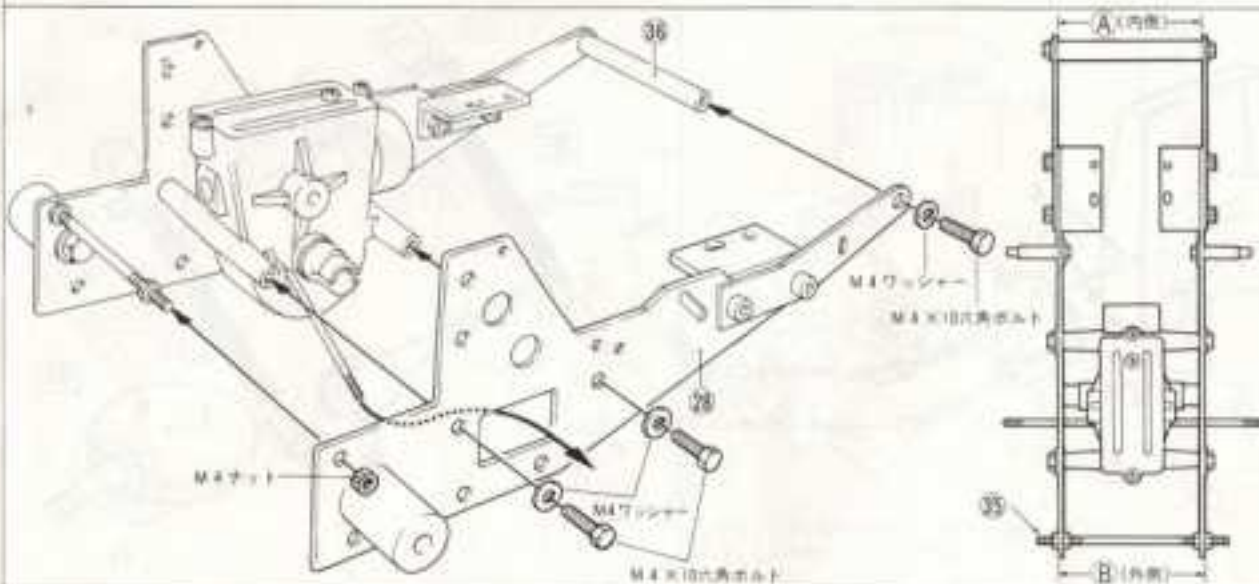
13 リアフレーム側にリアサスビボット部もM6ボルトで取付け、エンジンマウント部をリアステー部といっしょに取付けますが、エンジンマウントの右左をまちがえないように取付けて下さい。



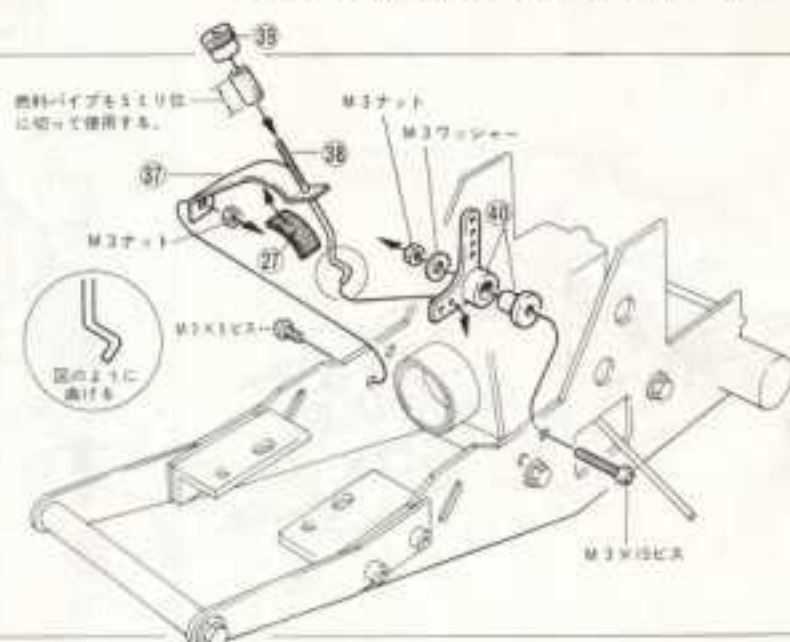
14 ギヤボックスのテンションロッド部をリアフレーム側の四角い穴へ通し、ギヤボックス本体をリアフレーム側に取付けます。



15 スタッドボルト部にM4ナットを固いように通し、リアフレームの一方にスタッドボルト部をM4ナットで固定しておきます。リアステージョイント部も取付けておきます。

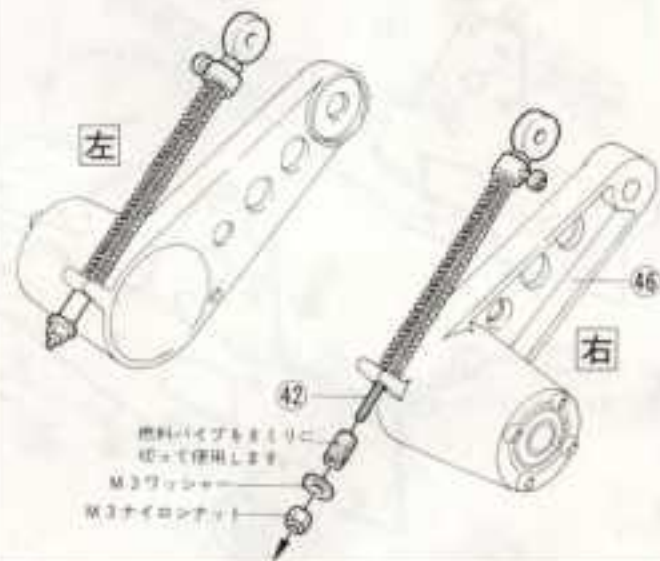
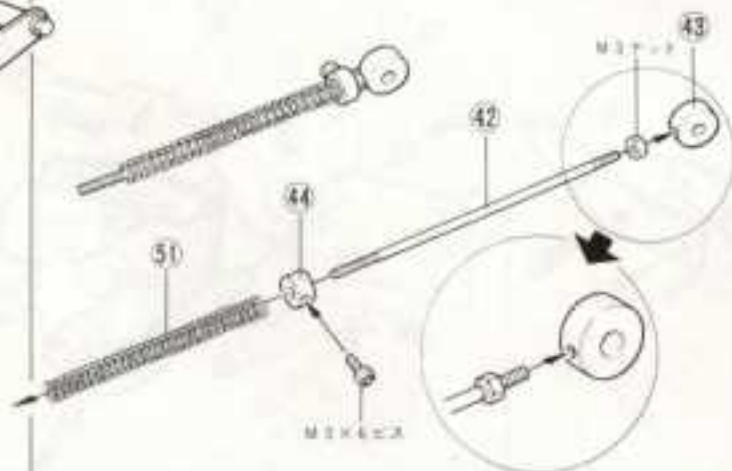
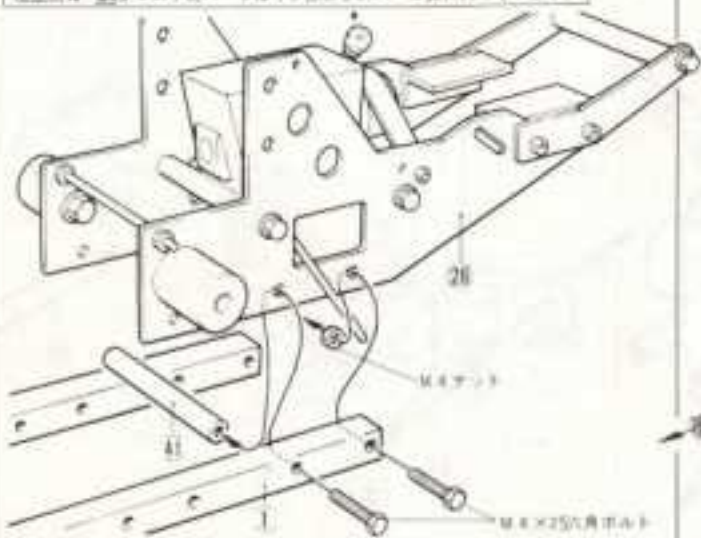


16 もう一方のリアフレーム部を固いように取付けますが、右図のA部が平行になるようスタッドボルト部のM4ナットを調整して締め付けて下さい。



17 ブレーキシュー部にライニング部を接着し、図のようにブレーキ及びクラック40を取付けて下さい。ブレーキアジャスター部は、ブレーキロッド部にネジ込んで下さい。

組立図18-20までの小色パーツはリア部組立のパーツ袋に入っています。

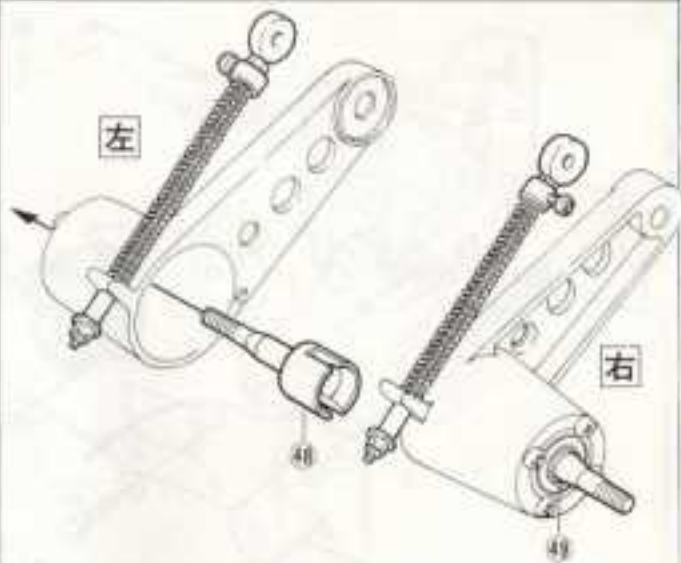
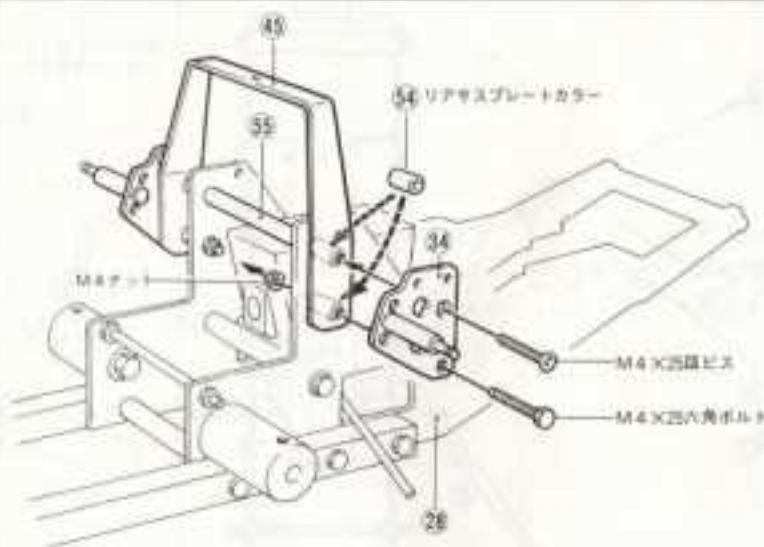
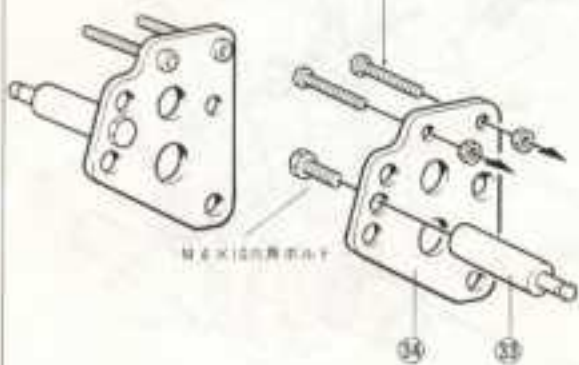


18 メインフレーム(1)にリアフレーム部を同のように取付けます

19 スプリングガイド端へM3ナットを通し、スプリングガイドエンド部を取付けて下さい。このときスプリングガイドエンド部のセンターの穴にスプリングガイド端が出ないようにして、M3ナットでロックして下さい。つぎに両のストッパーとリアスプリング部を通してあり、両のストッパーは後で調整しますので仮止めておきます。

20 リアササアーム部にスプリングガイド部を通し、パイプ・ワッシャーを入れ、M3ナイロンナットで取付けて下さい。

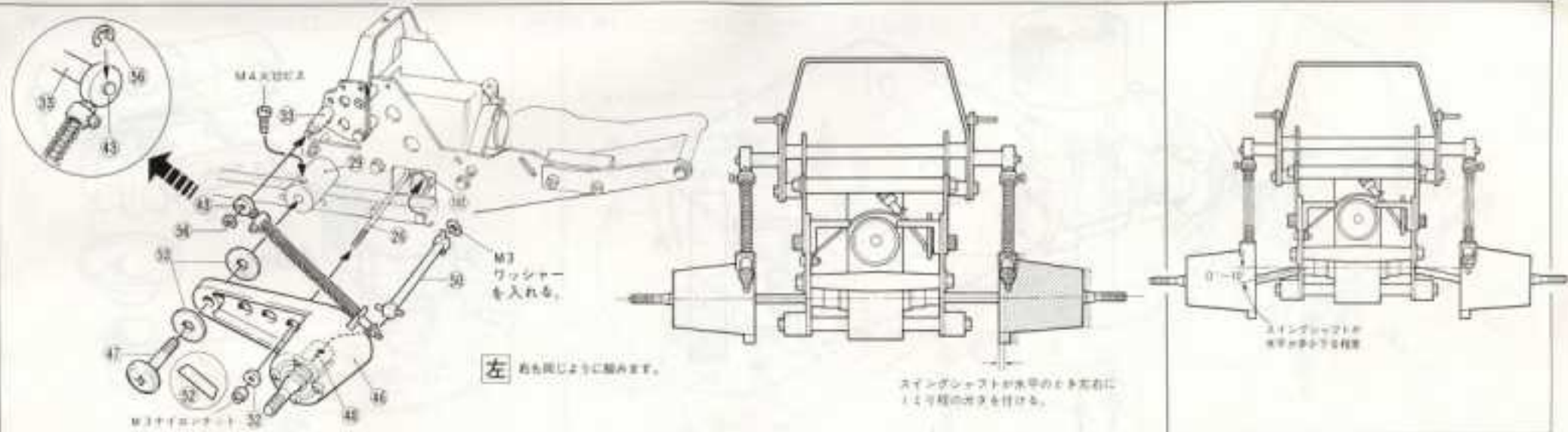
センターを挿入する穴にこのビスを取付けておく。
(注: このビス、ナットはセンターの中に入っておりません。)



21 リアササプレート(34)にリアササホルダーを取付けて下さい。

22 リアフレーム(2)にロールバー部リアササプレート部を取付ける。

23 リアシャフトベアリング部にリアホイールシャフト部を入れます。



24

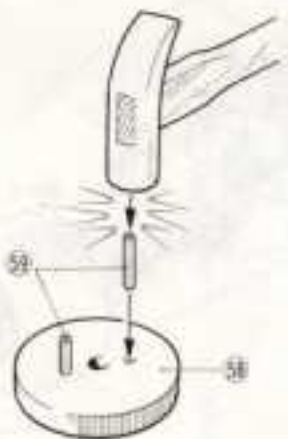
タイミングベルトをリアカムシャフトに入れ、図のようにタイミングシャフトのもう一方をリヤギョウスのジョイント部へ入れ、タイミングロッド調整リアスラストの位置のように取付けますが、右のリアカムシャフトの締め具合は、サスアームが右に動かさなく、上下に軽く動くようにセットし、右のリアカムギョウスのギョウスにM4X10にすぎまひ込み、物を引っ張ります。そしてタイミングベルトがジョイント部から落ちないように、タイミングロッド部にタイミングベルト受け部を入れ、M3ナットでタイミングロッド部を右側から締めます。但し、引っ張りすぎるとリアサスアームの動きが悪くなります。右図のような締め具合で右に1cm程度の動きがベストです。

以上の調整が済んだら、リアスプリングをリアサスホルダー部に入れとリングを取付ける。以上の調整が済んだら、リアカムシャフトを右で回して見て、スムーズにキヤが回転すればOK。回転が悪い場合は、タイミングロッド受け部を止めているM3ナットをゆるめ、調整して下さい。

25

車高は上げすぎないようにして下さい。シャシーを後ろから見てタイミングシャフトが0°~10°程度がベストです。

既定回数 済ませた小物パーツはエンジン部のパーツ袋に入っています。



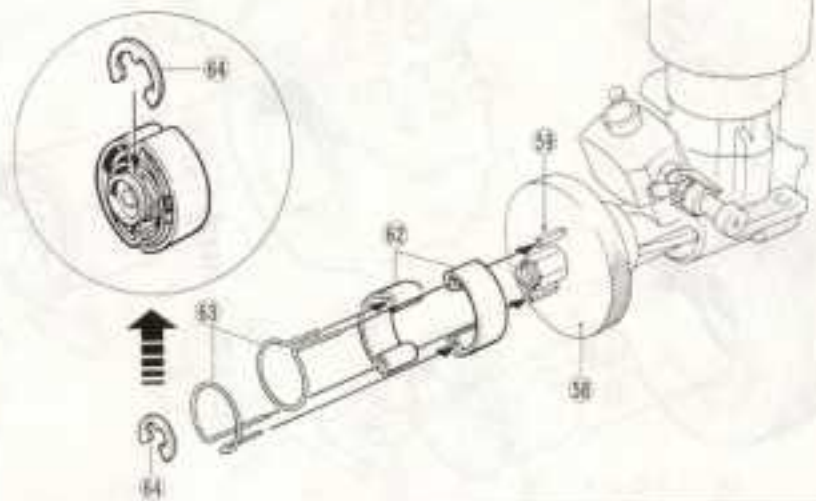
26

フライホイールへクラッチピンを打ち込みます。



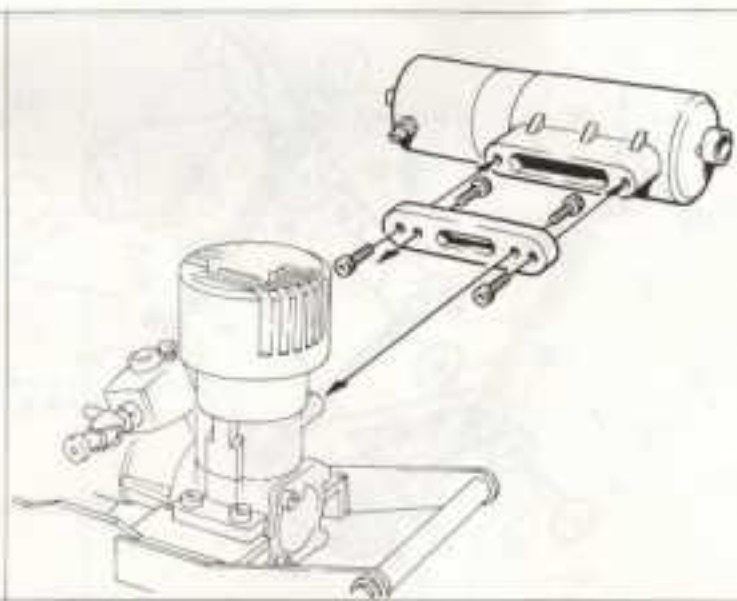
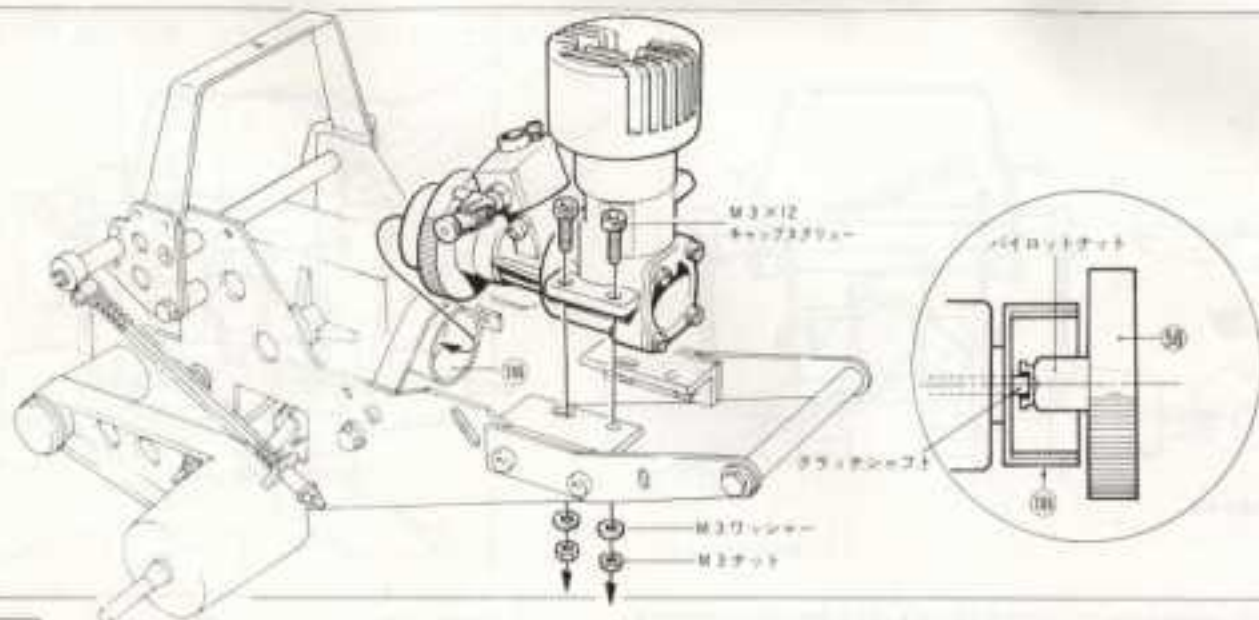
27

まずエンジンのドライブワッシャーからシャフトの先端までけり残し、鉄ノコ、グラインダー等でカットして下さい。カットが済んだら図のようにフライホイール部をしっかりと取付けて下さい。



28

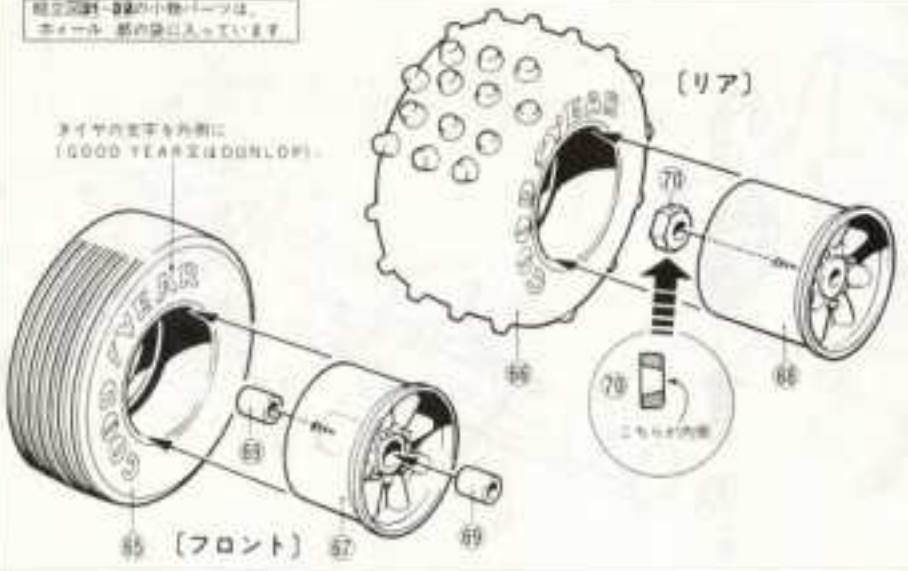
クラッチピン部にクラッチシュー線を入れ、図のようにクラッチスプリング線の長い方をクラッチピン部の穴へ、短い方をクラッチシュー線の穴へ入れ、最後にパイロットモリング線をパイロットナットの溝に入れ、スプリングが抜けないようにセットします。



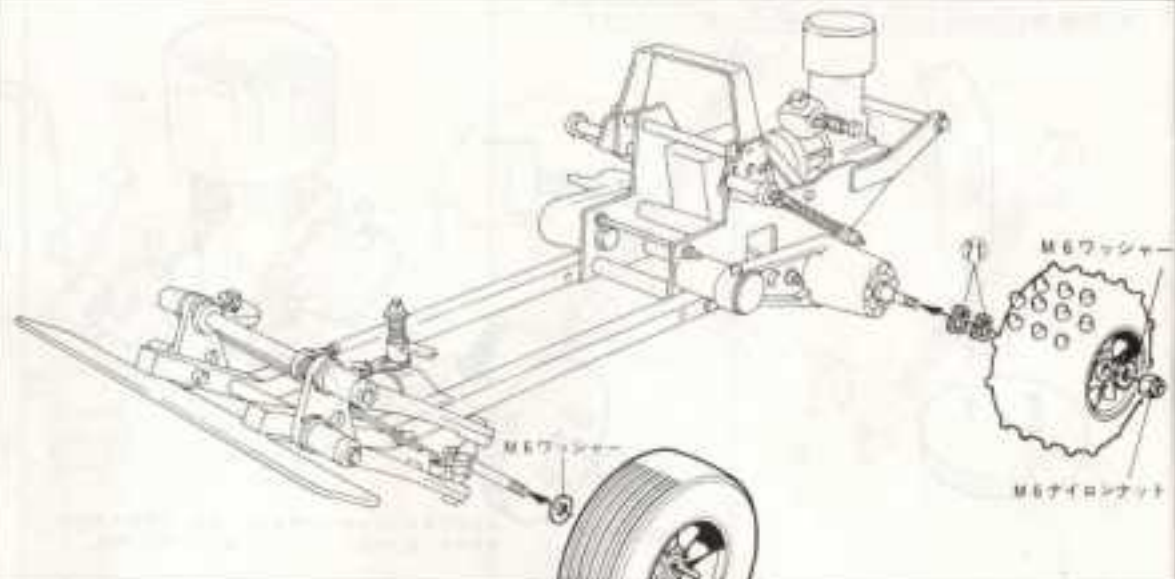
29 まず、エンジンマウントを止めているボルトをいったんゆるめておき、クラッチベル(88)のクラッチシャフトとパイロットナットのセンターの穴を合わせ、エンジンをエンジンマウントに取付けます。この取付上、真横からみて、エンジンがフレームと平行になるよう調整しながら各ネジをしっかり締め付けて下さい。

30 マフラーを取付ますが、オプションでサーキット専用マフラーが発売されています。OS-21、ENVY21X共用(CB-110)

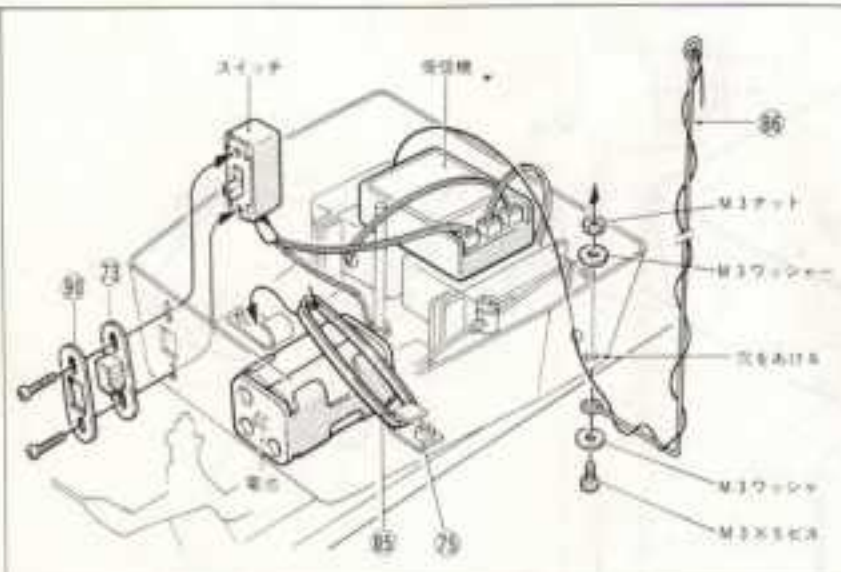
既定取付位置の小物パーツは、ホールド 部の袋に入っています。



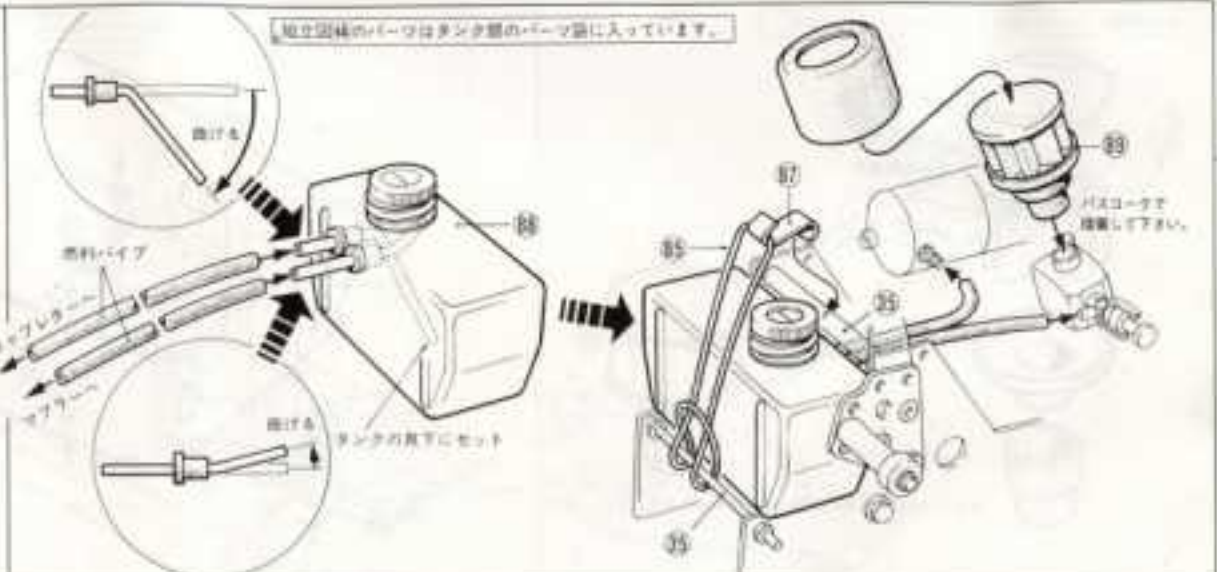
31 フロントタイヤ及びリアタイヤにそれぞれホイールを装着しますが、一番よい方法として、タイヤ及びホイールの接触面にゴム系接着剤をうすくぬり、約1日程かわかせます。つきかかわいた後にセンターカ、ホリリンをぬり、ホイールをタイヤに入れ、かんそうさせればきれいにまた確実に接着できます。またホイールの接触面にサントペーパーをかけて接着性を高めるというリアホイールにドライアワッシャー片も入れて下さい。フロントホイールにはフロントホイールメタル輪多回のように両側に入れて下さい。



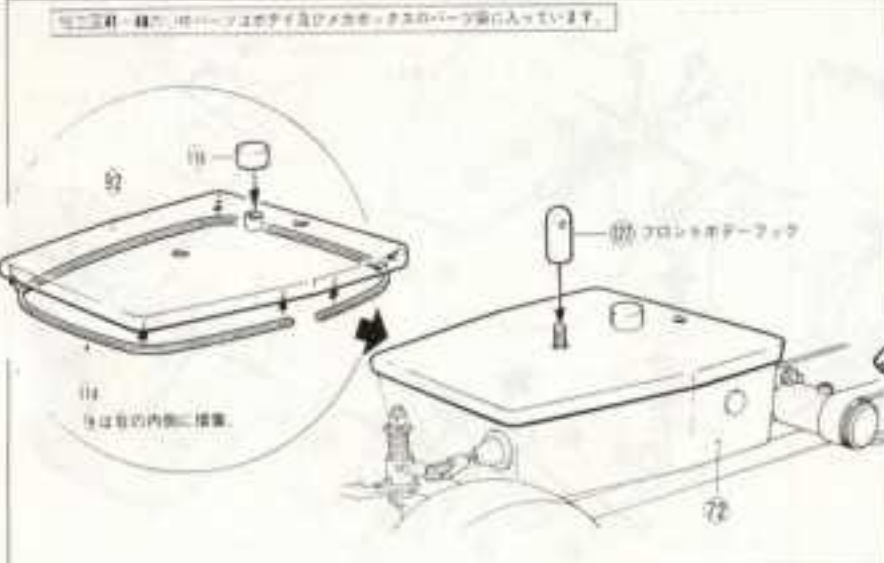
32 フロントタイヤ及びリアタイヤをM6ナロンナットで取付けて下さい。フロントタイヤはネジを締め過ぎると回転が重くなります。リアタイヤは空回りしないようしっかりと取付けて下さい。



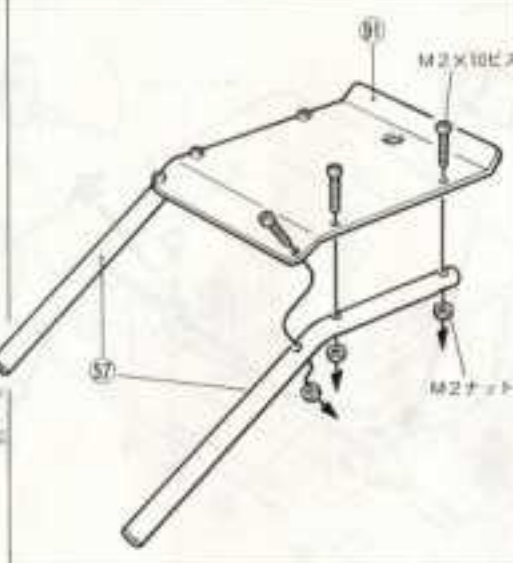
39 図のようにスイッチを取付ける時、付スイッチゴムブーツ飾スイッチプレートを使い、スイッチを固定して下さい。電池は25バッテリー挿入金具に飾ラバーバンドで固定。受信機はサーボの上におきます。新アンテナガイドは図のようにメカボックスに取付けて下さい。



40 図のように燃料タンクを組み立て、取付けは35スタッドボルトに飾ラバーバンドをひっかけ、前タンク取付金具を上側の35スタッドボルトにひっかけ固定します。組立図42で組立てた前エアフィルターをキャプレーターに取付けて下さい。



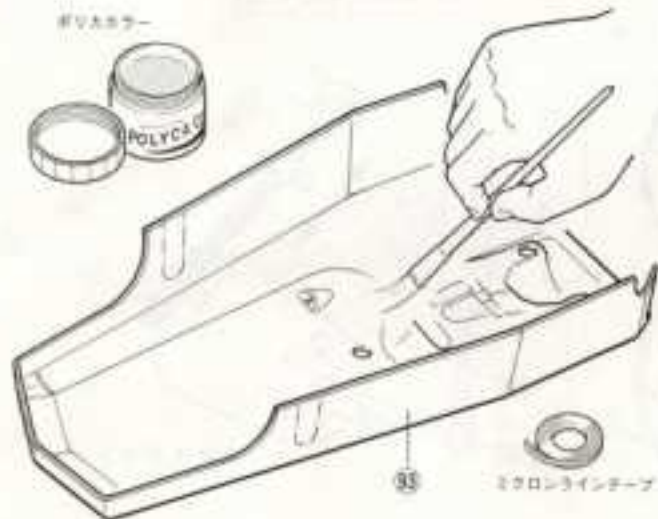
41 メカボックススタックアップ後、メカボックスシール皿をゴム接着剤等で接着して下さい。



42 ドライバーガード部に屋模形を取付ける。

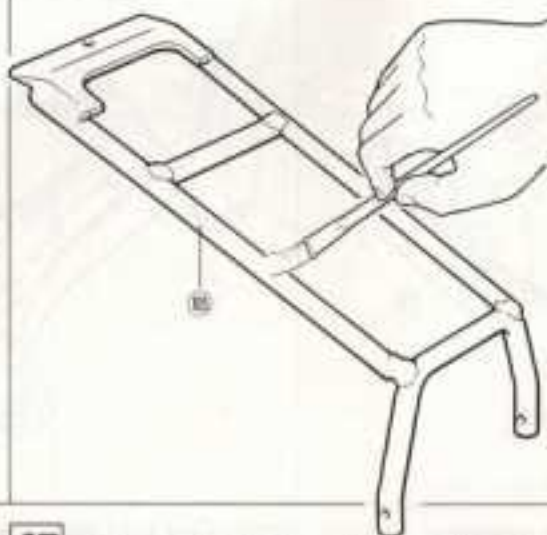


43 ボデー線をカッターラインにしたがいカットし、ドライバーガード取付穴をキリ等であけて下さい。



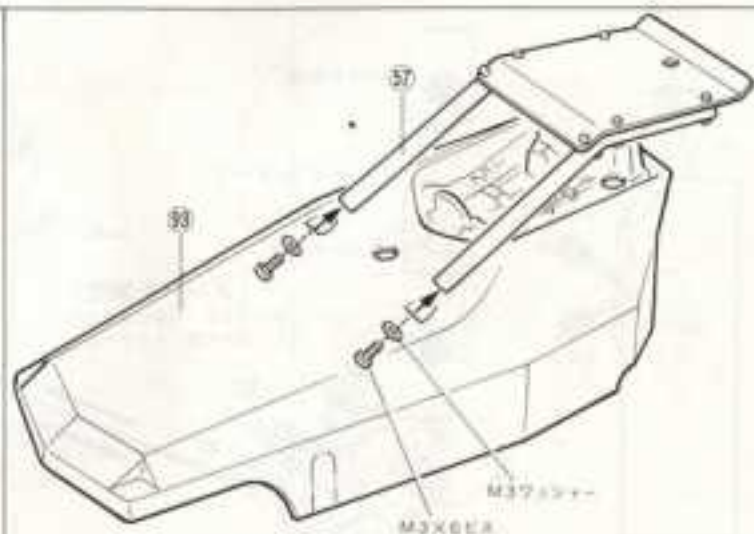
44

塗装前に中性洗剤で洗って下さい。洗淨が済んで、よく乾燥したらボデー内側へ塗装しますが、マスキングテープ等を使い塗り分けラインなど入れ最後に全体を塗り仕上げます。専用のポリカカラーはポリカ専用のもので水性アクリル塗料で塗りやすく乾けば、耐水、耐油性に富むポリカ専用塗料です。



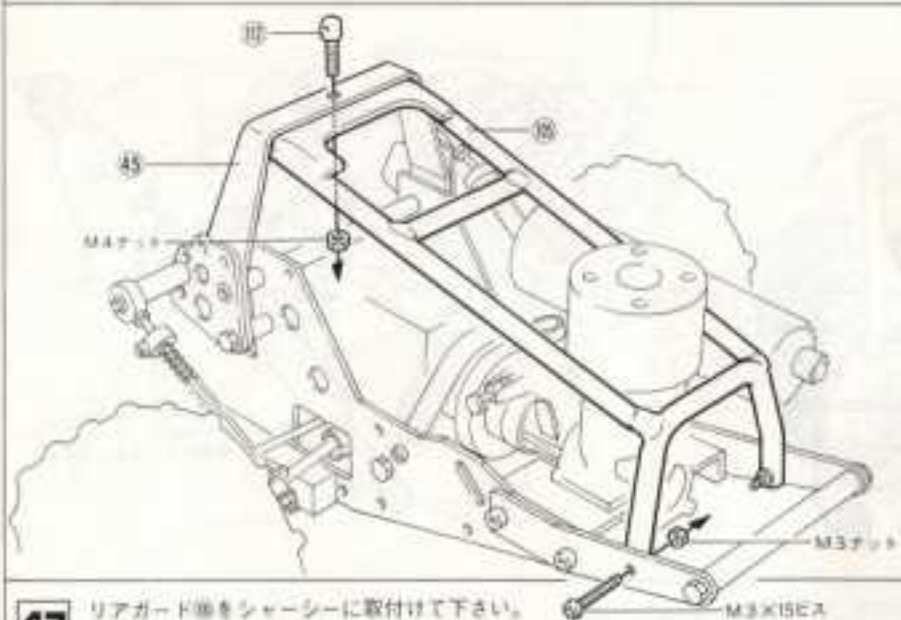
45

塗装の前によごれ、油等を中性洗剤で洗い、きれいにします。塗料は燃料に犯されないエンビ系の塗料(エンジンカラー等)を使用して下さい。



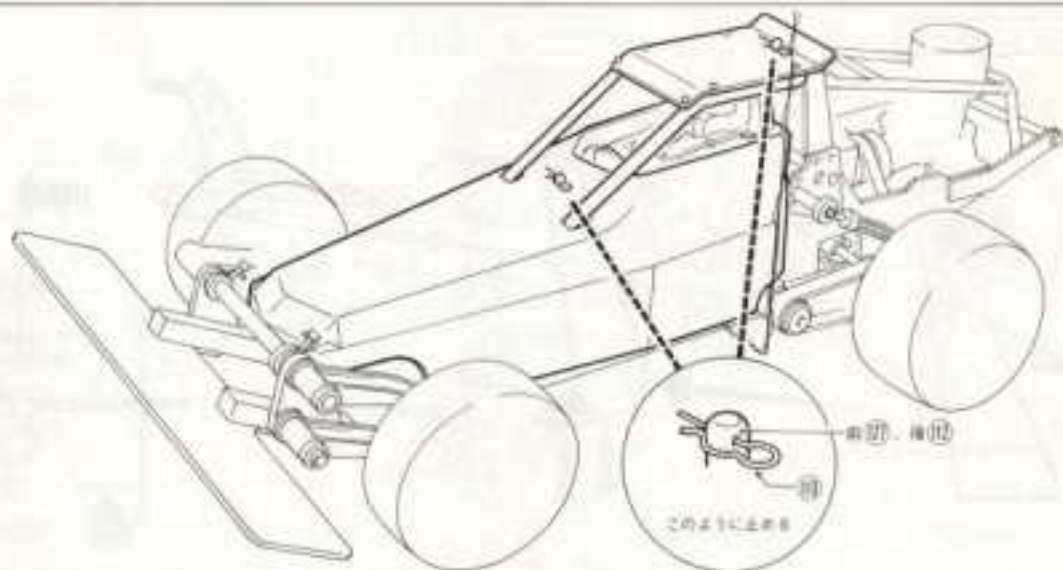
46

ボデーにドライバーガード部を取付けて下さい。



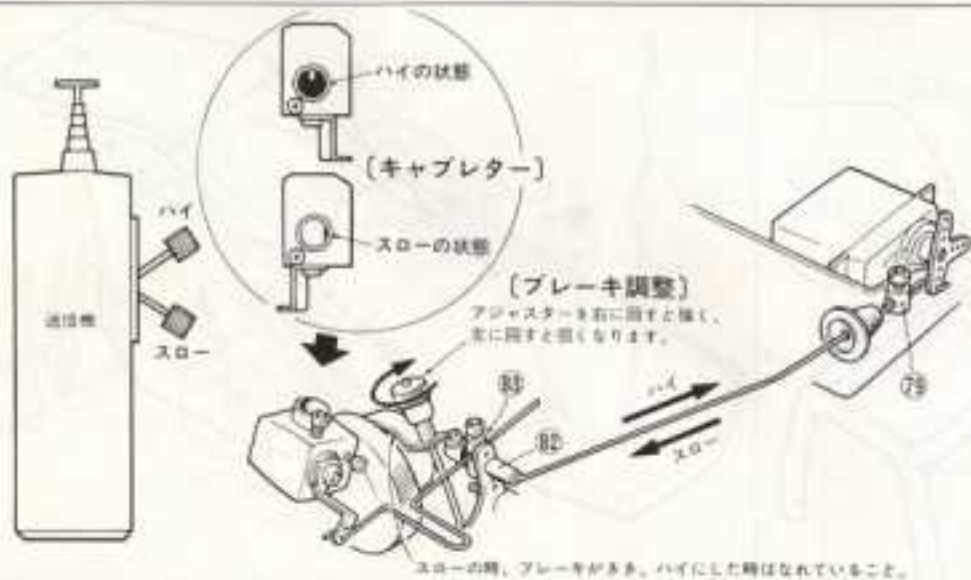
47

リアガード部をシャーシーに取付けて下さい。

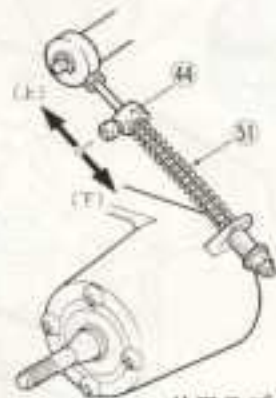


48

ボデーをシャーシーに乗せ、松葉ピン部でとめて下さい。



フロントスプリング

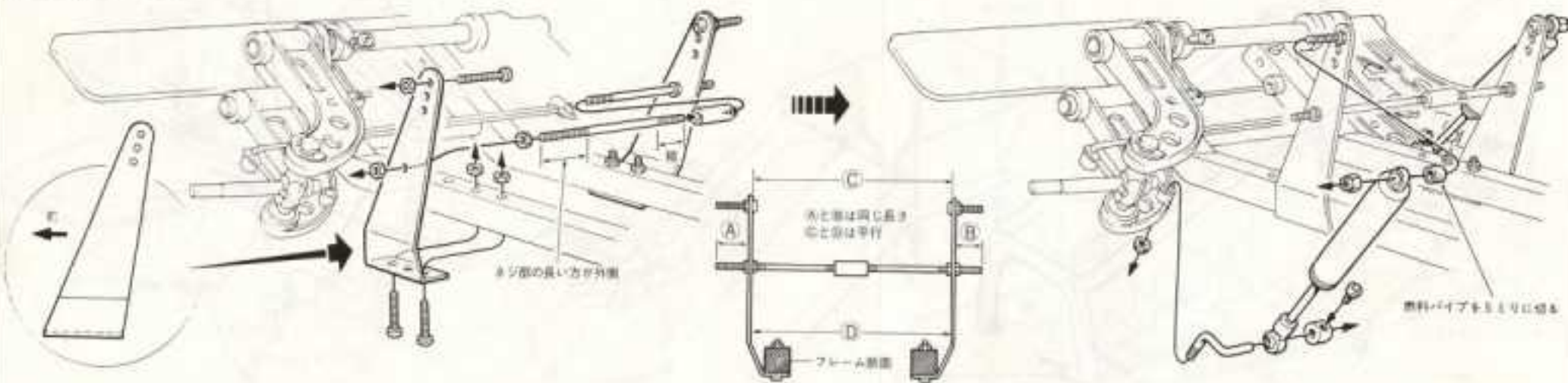


リアスプリング

49 走行の前にプロポの動作テスト及びブレーキ、エンコン等の調整をしております。まず送信機のエンコンスタックをスローにしたときブレーキが多。キャブレターが最スローにもなるよう調整し他のストップをゆるめ、コッドも動かして調整して下さい。また最スローにしたときに喉のナイロンカラーがリアフレームに当たらないよう注意して下さい。つぎにスタアリングスタックを動かしてみてフロントタイヤが軽く動かすように調整しております。

50 リアスプリング⑤の調整は棒の3ヶ所を上下に動かすと強弱。上に動かすとリアサスペンションが強くなります。フロントは右が弱く左が強くなります。

オプションパーツ

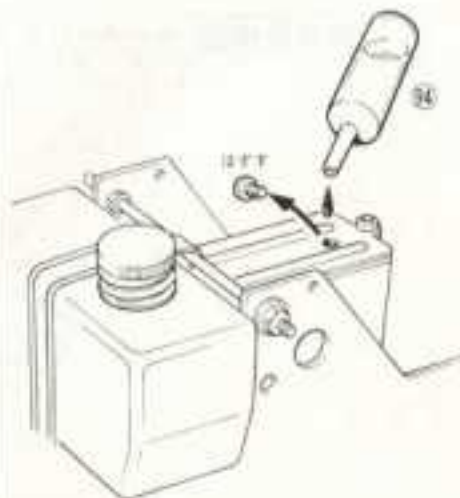
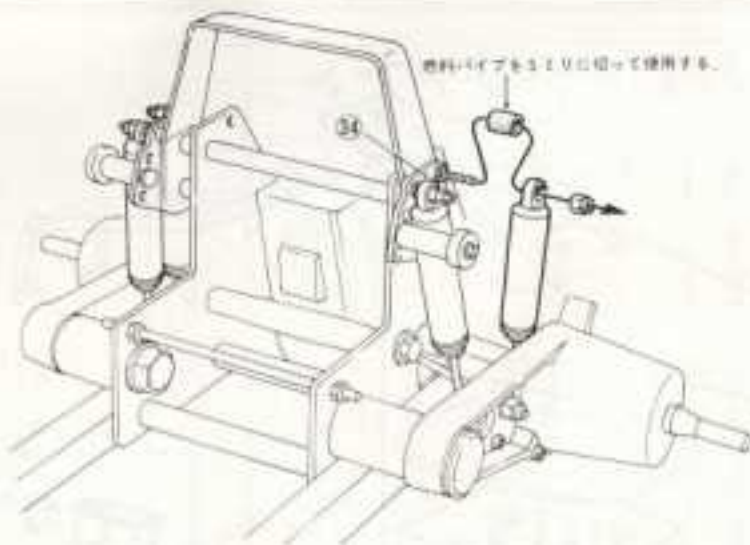
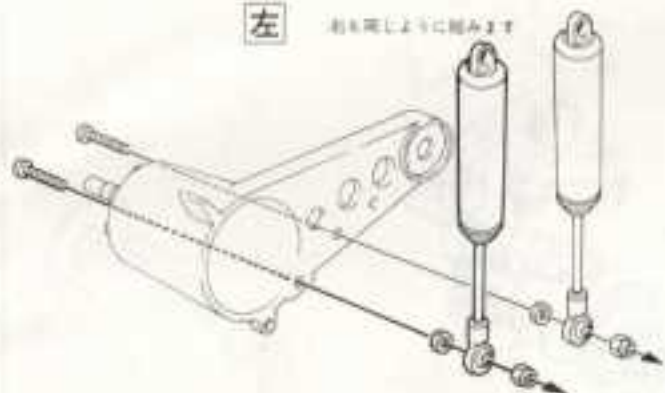


51 オプションのフロントダンパー(CB-88)の取付け方です。取付金具等はオイルダンパーの中に入っています。

オプションパーツ

左

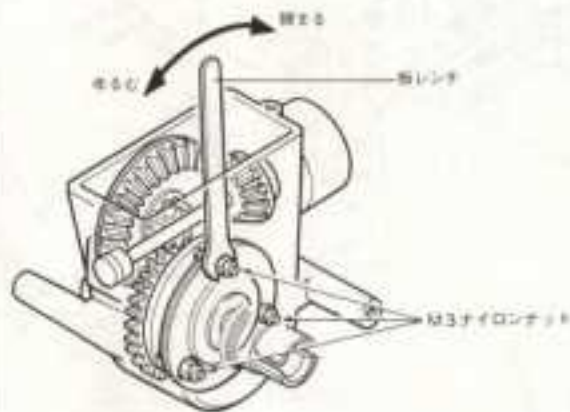
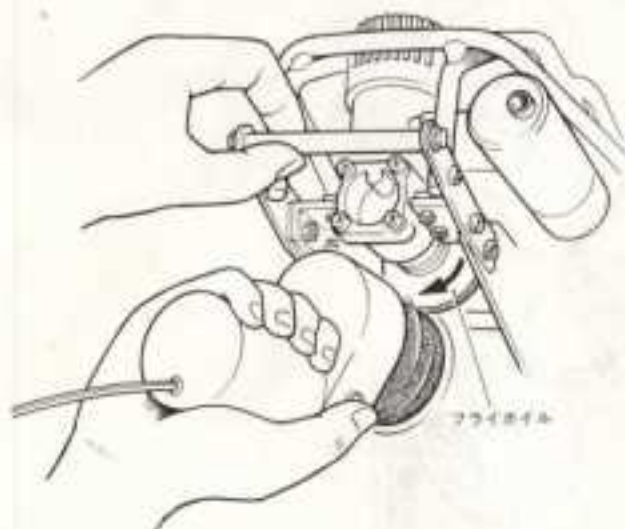
右も同じように組みます



52 オプションのリアダンパー(CB-89)は通常はリアに2本使用しますが、セッティングの1つとして4本装着できるようになっております。

53 リアサスプレート側にダンパーの上皿を同のように取付ける。

54 キヤボックスのフタについているM4ネジを脱してその穴からキットに入っている油剤を5cc入れて下さい。



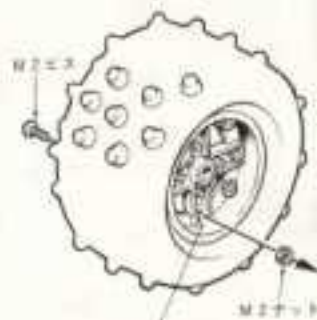
オプションパーツ



ナイロンスパーギア
(一般のダート走行に最適)



スパーギア
(深い谷地での走行に最適)



(オプション マグネシウムホイール)

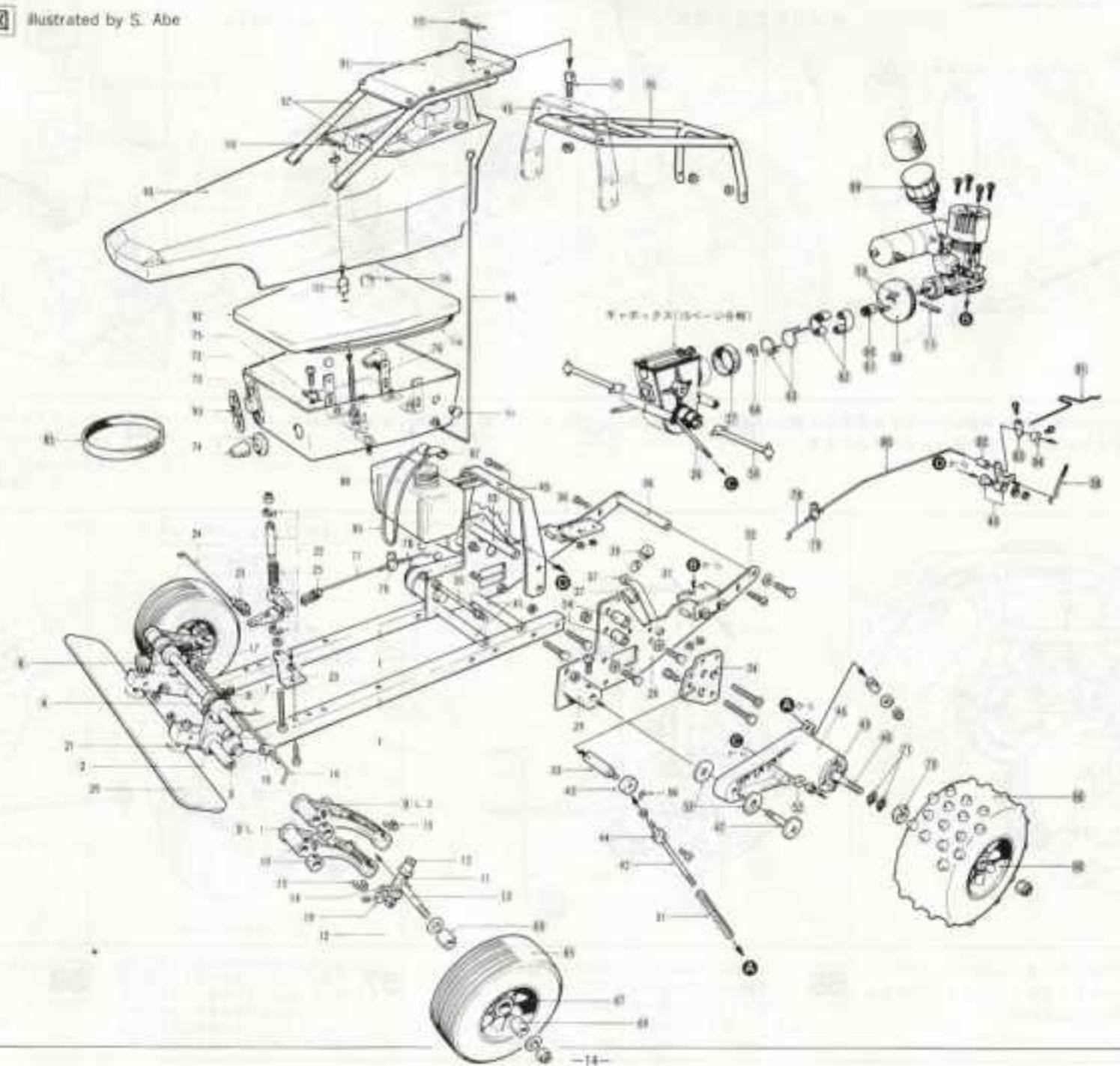
55 エンジンの始動方法は電動スターターを同のようにシャーシ下側からスターターをフライホイールにあてて回転させます。スターターの回転方向は左回転。

56 チェアの調整は、同のようにキヤケースの蓋をはずし、ホールの締め付けているM3ナイロンナットをレンチで締めればチアは強く、逆にゆるめれば弱くなります。
(注) この場合、3つのM3ナイロンナットを均等に少しづつ動かしてプレートが平行になるよう調整して下さい。

57 サーキットのリアタイヤはノーマルでも十分にグリップ力がありますが、走行場所にあったスパイクを取付けることにより、より以上の性能を発揮します。オプションのスパイクは2種類あります。推奨はアロンアルファー等をご使用下さい。

58 フロント及びリアホイールにオプションで丈夫で軽いマグネシウムホイールがあります。フロント(CB-102)リア(CB-103)

部分分解图 Illustrated by S. Abe



1/8th SCALE RADIO CONTROL OFF-ROAD RACE CAR
CIRCUIT 20 EXTRA

RACING BAJA

1/8スケール ラジオコントロール オフロードレースカー レーシングバハ取扱い説明書

サーキット20エクストラ
レーシングバハ
デファレンシャルギヤ装備
.19-.21エンジン/プロポ2チャンネル



KYOSHO

KIT No.3045

標準装備されたデファレンシャルギヤの内部。故障の少ないスラストボールデファレンシャルで、強靱の操縦が出来る。RR車の走りが一段と充実された。

オフロードバギーの走りが変わった！
シンプルな設計、驚異的な軽さ、
凸凹路も走破！デファレンシャルギヤ
の装備によるサーキット20エクストラ。

テクニカルデータ / TECHNICAL DATA

| | | | |
|-----------------------|--------|------------------------|-----------|
| ●全長 / LENGTH | 580mm | ●ギヤレシオ / GEAR RATIO | 8.1:1 |
| ●全巾 / WIDTH | 290mm | ●フロントレッド / FRONT TREAD | 230mm |
| ●全高 / HEIGHT | 195mm | ●リアレッド / REAR TREAD | 250mm |
| ●全備重量 / TOTAL WEIGHT | 3,450g | ●フロントタイヤ / FRONT TIRE | 100φ |
| ●ホイールベース / WHEEL BASE | 200mm | ●リアタイヤ / REAR TIRE | 110φ×48mm |

